



旭川市PTA連合会会長 宏 垣 大

やがて大きな力に!!

きました全ての皆様に心からの感謝を、さらには、皆様のPTA活動が益々有意義でありますようお祈りし、一年の締めくくりと致します。

この3月に起きた、いわゆる東日本大震災は、東北から関東地方にかけての大震災は、太平洋沿岸地域を中心に、広範囲に甚大な被害をもたらし、その後も、福島第一原発からの放射性物質の問題が、事態をさらに深刻化させています。この震災による犠牲者、被災者の中には、児童や生徒たちはもちろん、私たち同様PTA活動にご尽力されてきた方々も含まれているであろうことは想像に難くなく、言葉を失います。

被災地とは距離を隔て、直接的な被害も無く、普段と特に変わらない生活をしている私たちにとっては、歯がゆく、ものかしい思いに苛まれていた方も少なくないはずです。ただ、支援は直接的な支援ばかりではないので、私たちもできる間接的な支援について考えたいところです。震災を通じ、普段がいかに恵まれているか、また、社会の中で、人は人を支えたり、支えられたりして成り立つていてことをあらためて知らされたような気がしています。

自分が出来る小さなことから・・・。不連続の連続ともいわれるPTAにおいても、少しでも多くの小さな力が、やがて大きな力につながるものと信じたいものです。

変な文章となってしまいましたが、終わりに、被災地の一日も早い復興を願い、また、今年一年旭川市PTA連合会ならびにその活動に対し、ご理解とご協力頂

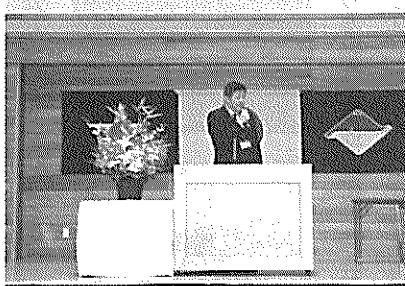
旭川市PTA連合会

【事務局】
旭川市6条5丁目
日章小学校3階

TEL 2312916番
FAX 2312917番

【発行責任者】大垣 宏

151回 旭川市PTA研究:



旭川市PTA 研究大会について

旭川市PTA連合会
研修部担当副会長 大谷地 裕明

第五十一回旭川市PTA研究大会が、
十一月二十八日旭川市地場産業振興セ
ンター、旭川市神楽公民館を会場に約
六百五十名の参加のもと開催されました。

本年度総務部の 主な仕事

総務部担当副会長 真下仁志
教育懇談会は、毎年開催している

事業であります。開催する意味があるのか?やっていることすら知らないなど、市PTA連合会として認知されていない現状から、単Pでます旭川市・教育委員会への要望等を議論してもらい、各ブロックで討議・集約し、ブロックでまとめたものをブロック代表者の質問とし懇談会に臨んでもらうことで、会員皆さんと題意識を共有し、また、ブロック活動の活性化につながるものと、今回より新たな方法で実施いたしました。

各学校の実践報告としては「PTA活動」、「子どもの安全」、「食育」、「父親の役割」、「読書」の

五部会を行いました。各部会とともにそれぞれより身近なテーマであり今後のPTA活動に向け内容のあるものになつたと感じております。

竹内成彦様の全体講演「子どもたちの話を聞こう」～明るい家庭作りは、思いやりの会話から思わず話に聞き入り、思わずうなずき、そしてハッとする心に響く強いメッセージが伝わってきました。

本研究大会が、今後の我々PTAの活動にひとつでも参考になれば幸いと思います。

最後に、本研究大会の開催にあたりご臨席賜りましたご来賓の皆様、また各部会において貴重な講演・助言をいただきました関係各位、そして大会運営にご尽力いただきました理事の方々および主幹校の愛宕中学校PTAの皆様に厚く感謝申し上げます。

子育ての不安感や孤独感はおしゃべりするだけでも軽減されることがあり、交流する場を提供できるPTA活動は、大きな役割を持っていると思っています。今後も各学校のPTA活動の活性化や、皆さんの交流に少しでもお役に立てるよう研究会を企画していきたいと思います。

参加してくださった皆様の素敵な笑顔や真剣な瞳、私たちの想いを理解し協力くださいました講師の皆様に、母親委員を代表してあらためて感謝申し上げます。



母親委員長 木村 笑美子

九月十一日(土) 中小企

業大学旭川校において二

百名を超える参加者をむ

かえて開催いたしました。

みんなに笑顔をというこ

とで母親委員会にて話し

合い、参加者同士が気軽に声をかけ合えるよう

に声をかけ合えるよう

ファミリーブメントについて

事業部担当副会長 小山 英明

今年度のファミリーブメント事業は秋と冬に一回実施致しました。どちらも多くの参加を頂き、無事に終えることができましたことは、この事業に関わって頂きました皆様方のおかげで、厚くお礼申しあげます。

秋は、平成21年10月17日(日)神居古潭「ふじくらますも果樹園」さんで、りんご狩りを行いました。大型バスを二台子やーターし、旭川市内を巡回し、参加者を乗せて現地に向かいました。一台は順調に到着致しましたが、もう一台は集合時間に参加者が来ていなかつたり、集合場所の学校が移転していくことに気がつかなかつたりと、大幅に遅れてしましました。天気もあまり良くなかったので、先のバスで到着した親子からりんご狩りをしてジングルスカンを食べました。後からのバスが到着し、りんご狩りを終えたころには既に食べ終わってしまいました。先に帰ることになりました。当初計画していた通りには行なうことができませんでしたが、参加した子どもたちからは「楽しかつた!」「来年も参加するよ!」とうれしい言葉を頂きました。

冬は、平成22年1月21日(日)新富小学校さんとの厚意でグラウンドと体育館をお借りして、ドッチボールやチュークリーそしてスノーモービル体験を親子で行い、みんなで豚汁を食べました。天候にも恵まれ冬の旭川を十分に満喫できた企画でした。特にスノーモービルはなかなか乗る機会もなく子どもたちはとどり、保護者のみなさんがたいへん盛り上がりいました。今年は部員がスノーモービルを所有していました。特にスノーモービルはなかなか乗る機会もなく子どもたちはとどり、保護者のみなさんがたいへん盛り上がりいました。今年は部員がスノーモービルを所有していました。特にスノーモービルはなかなか乗る機会もなく

あり、この事業をすることができました。本年度この事業に参加して頂いた児童生徒並びにそこの家族の皆様方、事業部長はじめ部員の皆様方、お手伝いを頂きまして役員の皆様方、そしてご支援頂きました皆様方に心より感謝申し上げます。

来年度も親子で楽しみながら親子の絆を深め、他の家族との交流することを通して、家庭教育について考えあきつかけとなるような事業を進めて行きたいと思いま

す。

今年度も親子で楽しみながら親子の絆を深め、他の

家族との交流することを通して、家庭教育について考

えあきつかけとなるような

事業を進めて行きたいと思いま

す。

今年度も親子で楽しみながら

「ブロック活動」

「旭川市PTA連合会」の組織は、地域ごとに八つのブロックに分かれて活動がなされています。今回もそれらのブロックにおいてどのような活動がなされているか紹介させていただきます。

神樂ブロック
○口づきの藤沢好季(手代)・田中一太(会長)
○酒井小学校・福澤東小学校・新井小学校
○西郷小学校・西郷中学校
○西郷中学校
○西郷中学校
○西郷中学校

[神奈川] ブロック会議並びに懇親会・教育講演会

十月七日（木）旭川トーヨーホテルにおきまして、西部ブロック十五校の校長先生・教頭先生・各学校PTA代表者一名の各校三名に参集していた。だき、ブロック会議を開き各学校のPTA活動の内容を紹介し合いました。その後、市P連副会長の真下様をお迎えし懇親会を開きました。懇親会では事務局長であります教頭先生方に学校紹介をしていただき、各校の親交を深めることができました。また、十月二十七日（水）には教養講座「落語鑑賞会」を北星中学校体育館で開催いたしました。PTA会員の方や子どもたちに楽しい一時を過ごしてもらおうと企画しました。旭笑長屋さんを通じてプロの漚家の橋家富蔵師匠に出演を依頼したところ快く承諾していただきました。体育館の舞台を工夫し照明をあてると

西部ブロック
西宮小学校・高取小学校・大谷小学校
西光小学校・天香小学校・五文小学校
西山小学校・西丹波小学校
柏原西小学校・柏原台中学校
北山中学校・柏原中学校・柏原東中学校
柏原西中学校

きました。
今年度の行事等の開催時には、各学校
のお手伝いを頂、何とか計画通り実施で
きました。ありがとうございました。今
後も各学校が協力できる良い関係である
「北部ブロック」であることを思い、活
動報告といたします。

学校の校長先生・教頭先生・PTAの皆さんに参集いただきまして行いました。各単位PTAの個性的でユニークな自己紹介があり、各テーブルでは自校のPTA活動の様子について情報交換が行われたり報交換が行われたりなど、これから活動につながるすばらしい懇親会となりました。

今年度の講演会は九月三日、近文第二小学校体育館を会場に、陣内 雄氏(もりねつと北海道代表)を講師にお招きして「身近な森との関わり方」と題したご講演をいただきました。廻りを山で囲まれた旭川で上手に森と関わり生活していくために、山のこと、木のこと、森にある植物、動物、昆虫のこと、「荒地になぜ、ヤナギが多く生えるのか」「シラカ

学校の校長先生・教頭先生・PTAの皆様に参集いただきまして行いました。各単位PTAの個性的で、ユニークな自己紹介があり、各テーブルでは自校のPTA活動の様子について情報交換が行われたり、家庭での子育てについて話の輪が広がるなど、これから活動につながるすばらしい懇親会となりました。

今年度の講演会は九月三日、近文第二小学校体育館を会場に、陣内 雄氏（もりねつ）と北海道代表を講師にお招きして「身近な森との関わり方」と題したご講演をいただきました。

（小口六種）田中謙輔（田中謙輔）
田中謙輔（田中謙輔）
田中謙輔（田中謙輔）
田中謙輔（田中謙輔）
田中謙輔（田中謙輔）
田中謙輔（田中謙輔）
田中謙輔（田中謙輔）

いきました。" という感想がありました。もとで子育て奮闘中の親が、同じように思いました。" その解決の糸口をつかむ時間を共有し、大変有意義な教育講演、子育てに楽しさを再確認し、元気をもらうことをめざして、この講演会を来年度以降も続けてもらうことを祈念いたします。報告とさせていただきます。

A black and white photograph showing a school assembly or lecture at Chitose Elementary School. A teacher stands at a podium on the right side of the frame, facing an audience of students seated in rows. The background features a large, vertical banner with Japanese characters. The overall atmosphere is that of a formal educational event.

ク研修会を一度目は、七月十四日に知新小学校会場に、少子化にかかわらずのPTA活動の現状交流を行いました。児童の少子化で、役員の担い手が少なかつたり、部活動が出来ず、少年団活動が偏つてゐる等の課題が提出されまつた。また、中学校の統廃合についても、自由討論形式で行なわれました。二回目は、ボウリング大会と懇親会を開催しました。ボウリング大会は、デイノスポーツウル旭川を会場に八〇名が参加し、大いに盛り上がりました。卓球大会上がりました。卓球大会は、チーム対抗で成績を競い合いました。各チームがよくプレーで歓声や拍手を交え、懇親会で、会場を移し、一段と盛り上がりました。各チームの成績発表と、表彰式も交え、これまでの輪が広がり、PTA活動の交流など、すばらしい懇親会となりました。

「障がいをもつ人でもスポーツができる光が見えた瞬間たつたそうです。その後、始めた甲斐だつたひたすら大好きだつたスポーツで、一歩も止まることなく走り続けました。」
永瀬氏は、「ついに長野オリンピックの日本代表ゴールキーパーとなり活躍します。しかし、メダルには届かず、「可能性は自分で決める」という想いが強くなりました。自分を自分で決める力が、自分を支えてくれている多くの人たちも夢はあります。」
「メダルという夢を追いかけ、家族、仲間、自分を一緒に夢を追いかけたい」と語られた人たちはおかげでがんばれました。」
永瀬氏の想いもあらわされ、夢をあきらめずにがんばることの大切さを参加者に熱く伝えてくれました。

二十二年度は、日本全国各地でさまざまな事件や災害が起きたり、各種制度の変更等で、PTA活動においても、大きな影響のある年だつたと思います。ただ子ども達はいつも元気で、そのパワーに驚かされ、届託の無い笑顔に救われたように思います。

さて、今年のP連だよりは、総括で会長、事業部、研修部、母親委員長、そして総務部と、今年度の活動の振り返りを掲載していきます。さまざまな事業を通じて感動した事や、活動の中で学んだ事等を代表して書いていきます。また、各ブロック活動の振り返りも掲載していますので、みなさまに読んで頂き、今年度を振り返って頂きたいと思います。そして、来年度の活動に役立てて頂ければ幸いに存じます。

もつと多くの方に、書いて頂けたいのですがページ数に限りがありましてをお許し下さい。

総務部一同

ペング大会です。会場の二十四レーンをすべて使用し、三、四名のグルーピンに分かれ、一人二ゲームを楽しみました。初対面の方も多かつたのですが、単Pの話題で盛り上がりました。会場の第二部は、懇親会です。当番校である東小学校の校長、旭P連のご来賓みどりP連の九校の単Pの活動報告を冊子にまとめた冊子に、それを配付し、それぞれから活動紹介をいたしました。ボウリング大会の表彰団体賞、個人賞もあり、楽しい中で交流が深まりました。

二月二十三日には、二回目の役員会を開きました。交流会の反省や決算報告、次年度の役員などについて話し合われました。

「口へいの廣瀬（地酒）から入るが長い
●伊豆山中学校 ●伊豆山中学校 ●伊豆山中学校
●伊豆山中学校 ●伊豆山中学校 ●伊豆山中学校
●伊豆山中学校 ●伊豆山中学校 ●伊豆山中学校